



令和6年



としょかん

図書館だより



あさひしょうがっこうとしょかん
旭小学校図書館

かんちょう さいじょう
館長 西條かおり

ししょ いでともこ
司書 井出知子

12月に入り、町はイルミネーションでキラキラと光り、クリスマス・ソング

がながれて、ウキウキとした楽しいふんいきになってきましたね。

今月の「図書館だより」では、クリスマスと1年をしめくくる12月31日の「大晦日」
についての本を紹介したいと思います。楽しいイベントにも色々という意味があることがわかると、
おもしろいですよ！



『クリスマスにくつしたをさげるわけ』 間所ひさこ・作 / 教育画劇
サンタクロースのおじいさん、くるかな？くるかな？」みんながまっているクリスマス。クリスマスの前まえの夜よる、くつしたを枕元まくらもとにさげてねるのはどうしてでしょう。そのわけをおはなししましょうね。 出典：TRC 図書館流通センター



『しあわせなモミの木』 シャーロット・ソロトウ・文 / 童話屋
ある町に、お金持ちの人が住む美しい通りがありました。ある日、そこへ粗末な身なりをした一人の老人が引っ越してきました。通りに住む人たちは、誰もその老人には話しかけたり、興味をもちません。そんなある日、老人は枯れかけたモミの木をお花屋さんで買います。本当に大切なものとは……。温かなクリスマスのお話です。



良いお年を



良いお年を



良いお年を



『きょうとあしたのさかいめ』 最上一平・作 / 教育画劇
今日はおおみそか。秋あきに遠とほくに働はたらきにいったみりのお父さんが、みんなとお正月しょうがつをむかえるために帰かえってくる日です。お正月の準備じゅんびを通して家族かぞくのぬくもりが伝わつたってくる、おおみそかの由来話ゆらいばなし。出典：TRC 図書館流通センター



『びんぼうがみとふくのかみ』 大川悦生・作 / ポプラ社



おおみそかの夜よる、なにやら屋根やねうらから音おとがします。すると、ちいさなおじいさんがおりてきて、おれは100年前ねんまえからこの屋根うらにすみついているびんぼうがみだといいます。さて、この家いえはどうなってしまうのでしょうか！

つぎ ころ
次のひまわり号は12月13日(金)です！

